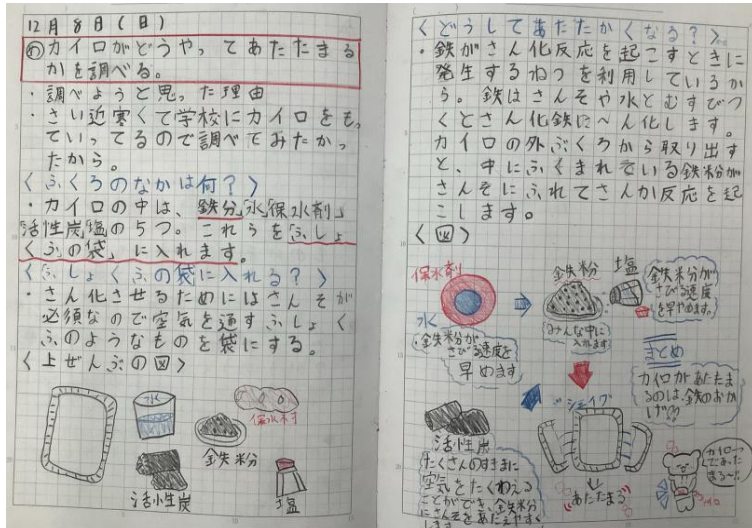




「カイロが温まるのは、なぜ？」



左の写真は、中学年のあるクラスの「自主学習ノート」です。このクラスでは、計算や漢字、音読などの宿題の他に、自分で調べてみたいと思ったことを自主学習としてノートにまとめる家庭学習を行っています。調べる内容を自分で考えるため、時間がかかることもあります。自分の好きなことに取り組むことができるので、意欲的にまとめたノートを見せてくれる子どもたくさんいるそうです。

下の二次元コードでは、県教委・市教委からそれぞれ出されている「家庭学習のポイント」が紹介されています。両方で共通していることは「**子どものやる気をほめる**」ことです。

学校でも、子どもをほめることを意識していますが、教員よりもお家の人からほめてもらうことが一番子どもたちは喜びます。特別なことじゃなくても、どんな小さなことでも、やろうとしたこと自体を認めるだけでもいいです。「よくあきらめずに続けることができたね!」や「これをやろうとしたことがスゴイよ!」など、自分が挑戦していることを認めてもらえると、「またやってみようかな」「もうちょっと頑張ってみよう!」とやる気が出てきます。逆に、やっていること自体を否定されたり、結果のみで判断されてしまうと、次からやろうとする意欲が一瞬でなくなってしまいます。ぜひ、子どものやろうとする意欲や取り組もうとする姿を認め、励まし、ほめてあげてください。何度失敗しても、上手いかわからなくても、一番身近なお家の人からほめてもらえれば、必ず「あなたのことをいつも見守っているよ」「一番応援してるから」という思いが伝わります。

カイロを調べようとしたきっかけ、調べたことを絵で描いてみる発想、そして絵もうまい!すべてが素晴らしいです。



「みえの学力向上県民運動」

子どもたちの学習状況や、家庭学習を習慣化するためのアドバイス、家庭で活用できる資料を紹介する動画を掲載しています。



「津市家庭学習マニュアル(保護者用)」

子どもたち一人一人が主人公になる授業改善を進めていくことや、「やりたい」が高まる家庭学習のポイントを動画で説明しています。

